

パラグアイ海外邦人安全対策情報

(令和2年1月～3月)

1 安全に関する情報

外務省海外安全ホームページで、パラグアイ国内の以下の地域に危険情報が発出されていますので、ご注意ください。

●コンセプション県ウブ・ジャウ市と隣接するアマンバイ県内の県境付近、コンセプション県の一部、サン・ペドロ県の一部、アマンバイ県カピタン・バド市、アルト・パラナ県プレシデンテ・フランコ市

:「レベル2:不要不急の渡航は止めてください。」(継続)

●アスンシオン市及び周辺、アマンバイ県ベジャ・ビスタ・ノルテ市、ペドロ・ファン・カバジェロ市、カニンデジュ県サルト・デル・グアイラ市、アルト・パラナ県シウダ・デル・エステ市、イタプア県エンカルナシオン市

:「レベル1:十分注意してください。」(継続)

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1)全般

パラグアイ国内では、オートバイを利用した拳銃使用の強盗事件、市街地での置き引き、車上荒らし等が発生しています。カメラや目立つ貴金属等を露出しない、不用意に貴重品を持ち歩かない、屋外で不急の携帯電話の使用は控える、カバンは身体から離さない等、強盗・盗難の被害に遭わないように心掛けてください。また、銀行や金融機関に出入りする客を狙った強盗も多く発生しています。周囲の状況を常に確認するようにし、警戒の意識を保ちながら行動するようにしてください。

(2)主な事件概要

- ・ 1月5日午後2時40分ころ、アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市マリスカル・エスティガリビア地区の住宅地で、男性とその妻が車でガレージに入ろうとしていたところ、武装犯に襲撃され、男性が銃弾約10発を受け死亡し、妻も銃弾約15発を受け重傷を負い病院に運ばれた。
- ・ 1月19日午前4時ころ、アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市に所在する地方刑務所から、ブラジル麻薬犯罪組織である PRIMER COMANDO CAPITAL (PCC) のメンバーを含む76名が脱獄する事件が発生した。
- ・ 2月11日午前2時ころ、アスンシオン市内に所在する酒屋に3人組の武装犯が現れ、店の売上金と現場に居合わせた客8名から携帯電話及び現金を強奪する事件が発生した。
- ・ 2月18日深夜、アルト・パラナ県エステ市に所在する国家警察庁組合事務所の屋根を一部破壊し賊が侵入した。現場にあった現金約3,500万グアラニー(約5,800米ドル)が奪われた。
- ・ 2月24日午前3時ころ、アスンシオン市サンティシマ・トリニダ通りとカベジャネス通りに所在するコンビニ店(BAGGIE)で3人組の武装犯が店員を拳銃で脅迫し売上金約200万グアラニー(約

330米ドル)を奪い逃走した。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

特に無し。

4 日本企業の安全に関わる諸問題

特に無し。